

資料27

UNDP・WID基金によって進行中のプロジェクト

1. アフリカ

①エチオピア

「HIV/エイズのジェンダー社会経済分析」

\$348,434

プロジェクトの成果

- ・国家、地域、世界レベルでのHIV/エイズ及びジェンダーに関する調査の再考と目録づくり
- ・調査条件の作成
- ・女性問題局、多部門間国家HIV/エイズ協議会、青少年スポーツ省、アジスアベバ大学、UNAIDS、国際協力事業団（JICA）、日本大使館その他の抛出国、国際機関、地元組織が参加する研究のための技術委員会の設置

現行の活動

- ・HIV/エイズの社会経済的、文化的要因に関する情報の収集
- ・政府と市民社会団体（CSO）間の政策対話の促進や全国的な意識向上キャンペーンを通じた、HIV/エイズ対策における多部門間協力を推進するためのジェンダー政策・法制度の整備

「元焚き木運搬女性の連盟（FWFCA）支援」

\$125,600

プロジェクトの成果

- ・焚き木運搬に従事していた女性が経済活動を通して生計を立てるための訓練
- ・FWFCA会員が自分たちの問題についての公的議論に参加できるよう、組織力と自信をつけるための訓練。エチオピア通産省事務次官との最近の会合で、FWFCA代表は女性団体が生産する手工芸品の輸出促進に関する意見を表明
- ・政府機関及び女性の権利・環境・社会福祉等に取り組むNGOとのネットワークづくりの促進
- ・FWFCAの将来の活動戦略を練るための、政府機関やNGO代表を交えての戦略計画ワークショップの開催

(1)森林再生及び苗の育成に取り組む政府機関・非政府機関とのパートナーシップ、(2)正確な市場調査による経済活動の多角化、(3)リーダーシップ・交渉・資金集めの技術を向上するための組織的キャパシティ・ビルディング等の提言がおこなわれる

現行の活動

- ・プロジェクト終了

広報活動

- ・UNDP CHOICES誌（2002年9月号）www.undp.org/dpa/choices/2002/september/

②コンゴ共和国

「男女平等推進プロジェクト」

\$298,874

プロジェクトの成果

- ・女性の権利についての情報と法的支援を提供する2つの相談所をブラザビルに設立
- ・家族の権利に関する意識向上キャンペーンを各地で開催、約5,000人が参加
- ・女性の政治参加を促進するために民主主義に関する情報や資料を提供する5つの情報センターの設置
- ・選挙手続きに関する情報ワークショップの開催
- ・議員や政府高官、市民社会団体職員を交えての、議会運営や予算編成手続きに関するワークショップの開催

現行の活動

- ・法律相談所と情報センターのモニタリング・活動評価
- ・女性候補者の憲法や地方統治に関する知識向上のための訓練セミナーの開催
- ・女性や子供の権利、相続権、HIV/AIDS予防に取り組む女性プログラム・リーダーやNGO職員の訓練

広報活動

- ・地方紙、全国放送のテレビ・ラジオで法律相談所や情報センター、議会運営及び予算編成手続きに関するワークショップの特集
- ・UNDPのホームページ：<http://mirror.undp.org/congo/Gouvernance.htm>

③南アフリカ

「ジェンダー・人種面からの貧困削減政策の査定：ミクロ・マクロのシミュレーションによるアプローチ」

\$166,696

プロジェクトの成果

- ・貧困削減政策が性別、人種別、地域別の貧困状況に与える異なる影響を査定するためのミクロ・シミュレーション・モデルの開発
- ・南アフリカ政府社会開発省による、育児給付、養老年金、障害者給付等に関する現行及び将来の政策策定へのシミュレーション・モデルの適用

現行の活動

- ・ミクロ・シミュレーション・モデルの使いやすいインターフェースの開発

2. アラブ諸国

①エジプト

「女性の総合型保健プロジェクト」

\$352,673

プロジェクトの成果

- ・2つの女性保健センターの設立と女性保健クラブの修復。
- ・エジプト保健省による、情報通信技術（ICT）とマイクロクレジットを専門とする2人のJICA青年海外協力隊員の派遣要請

現行の活動

- ・家族計画や女性の権利についての認識を高め、ICT設備を用いた識字教育や職業訓練を実施するための女性保健センターを女性保健クラブ内に設置
- ・経営、啓発活動、その他のコミュニケーション技術に関する職員訓練の実施

②ヨルダン

「女性のための職業訓練と雇用機会の推進」

\$245,000

プロジェクトの成果

- ・市場調査の結果、選定されたアパレル産業、ICT（情報通信技術）、ビジネス英語などの分野において、特定の学校や大学でカリキュラムや訓練プログラムを開発
- ・2002年11月に、潜在的雇用者と就職を希望する学生を引き合わせるためのロースター制度をインターネット上に開設

現行の活動

- ・就職斡旋サービスの開発
- ・女性の労働市場・非伝統的職業分野への進出を促進するための、雇用者（特に民間部門の雇用者）の意識向上を狙った戦略的啓発・啓蒙活動及びメディアによるキャンペーン
- ・CAD（コンピューターによる設計デザイン）システムその他ICT技術に関する学生の技術訓練

広報活動

- ・地元メディア

- ・UNラジオ：プロジェクトが労働市場のニーズに合ったカリキュラムの開発を通して、女性大学卒業者の雇用促進を目指していることを報道

③パレスチナ

「ベツレヘムにおける女性のデザイン及びマーケティング・センター設立」

\$260,000

プロジェクトの成果

- ・女性手工業者を支援するトゥラス手工業センターをベツレヘムに設立
- ・パレスチナ内外におけるマーケティングを促進するための、NGOや民間企業との戦略的パートナーシップの構築
- ・センターのビジネスプランを市場調査に基づき作成
- ・ランプ、ラグ、カーペット、クッションなどの家庭用品を生産する女性手工業者への支援を目的とした、トゥラス手工業センターのガザ地区への拡大
- ・生産者と製品のデータベースの作成

現行の活動

- ・新たにデザインされた手工芸品のマーケティング及び販売
- ・オンライン・マーケティングのためのホームページの作成

3. アジア・太平洋

①バングラデシュ

「マトラブ・リプロダクティブ・ヘルス計画国際下痢性疾病研究センター」

\$297,616

プロジェクトの成果

- ・ダッカのバングラデシュ国際下痢性疾病研究センター（ICDDR,B）及びマトラブ訓練センターにおける「革新的なアプローチを通してレトリックから現実へ」と題されたリプロダクティブ・ヘルスに関するトレーニングを実施。バングラデシュ、カンボジア、インド、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナムの8カ国の代表が参加
- ・バングラデシュ政府の家族計画・人口問題に関するプログラム・マネージャーの訓練。ICDDR,Bのマトラブ保健研究センターが実施した母子保健に関わる諸調査の結果を紹介。

現行の活動

- ・プロジェクトの最終評価段階

②ブータン

「地方女性のためのeコマースプロジェクト」

\$212,180

プロジェクトの成果

- ・2002年にプロジェクト開始

現行の活動

- ・地方の女性手工業者に対する経営技術の訓練
- ・戦略を立てるための現行のeコマースに関する政策的枠組の分析

③中国「中国のWTO加盟：女性への影響調査」

\$315,000

プロジェクトの成果

- ・国内の研究者及び国際コンサルタントが、中国のWTO加盟が農業・産業両部門に与える社会経済的影響に関する実地調査を特定の省で実施
- ・抛出国やCSOに対して調査結果を報告するためのワークショップの開催

現行の活動

- ・研究報告書の発表
- ・調査結果を政策・法律・プログラムの形成に反映させるための政府との政策対話

- ・女性指導者やWTOの中国代表が意思決定をおこなう指導的役割を積極的に担うことを促すキャンペーン
- ・WTO加盟の影響に対する理解を深め、女性の政策策定への参加拡大を促すためのメディアによるキャンペーン
- ・WTO加盟が女性にもたらすマイナスの影響を緩和するための訓練と社会的保護

広報活動

- ・新華社通信
- ・人民日報、2002年3月「UNDPがWTOと中国女性に関する研究を開始」
- ・<http://english.peopledaily.com.cn/archive.html>
- ・中国婦女誌、2002年6月「中国の貧困軽減に向けてのUNDPの介入：貧しい女性への支援」
- ・UNIFEM北京事務所ウェブサイト：www.unchina.org/unifem/projects

④フィジー、サモア、バヌアツ地域

「持続可能な生計の推進による女性の経済的エンパワーメント」

\$293,370

プロジェクトの成果

フィジー

- ・貧しい女性へのマイクロファイナンスの拡大。地方及び都市部の2,240人の低所得女性への貯蓄モデル適用が成功。家庭の生活費や子供の教育費を賄うための貯蓄が日常的におこなわれるようになる。また、975人の女性クライアントが零細企業や仲介業を経営
- ・女性の経済的エンパワーメントのための国家行動計画を内閣に提出

サモア

- ・中学校最終学年在籍の107人の女子生徒に対する、生活手段としての自営業及び小規模事業についての研修
- ・111人の女性失業者に対する、非伝統的職業に必要な経営技術の訓練

バヌアツ

- ・バヌアツ女性の経済的エンパワーメントに取り組む組織による参加型実績評価
- ・経済的エンパワーメント政策に関する協議への約200人の地方女性の参加
- ・ポートヴィラの454人の低所得女性への貯蓄モデルの適用。プロジェクトの支援を受けてマイクロファイナンス

を提供するNGO、バヌアツ女性開発計画（VANWODS）を通して貯蓄がおこなわれるようになる地域

- ・22の太平洋島嶼国の女性地域開発ワーカーを対象とした、零細事業や経営技術の訓練
- ・フィジー、キリバス、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島の女性に対する、持続可能な生計、海産植物の利用、基本的経営技術、地方女性への知識普及等に関する訓練
- ・「7つの栄養豊富な海産植物」と題された冊子の出版と地域での配布

広報活動

- ・フィジー・タイムズ、フィジー・ポスト、フィジー・サン、フィジー・テレビワン、バヌアツ・トレーディング・ポスト、サモア・オブザーバー、サモア・テレビなどの地元紙やテレビ

⑤イラン

「女性の権利推進プロジェクト」

\$134,000

プロジェクトの成果

- ・イラン女性が直面する問題について討論するワークショップの開催。ワークショップには女性問題担当の大統領顧問、女性参画センター長、議員、ジェンダー及び法律問題の専門家、研究者、ジャーナリスト、女性団体職員などが参加
- ・ワークショップの成果を、設立が検討されている女性情報普及センターの機能を決定するた

めのニーズアセスメントに反映

- ・イラン憲法、民法、イスラム法の女性の権利や女性の保護に関する条項を抜粋し、編纂

現行の活動

- ・女性情報普及センターの建設
- ・女性の権利及び女性の保護に関する条項を収集したハンドブックの作成

⑥モンゴル

「ジェンダーに配慮した予算立案支援」

\$113,700

プロジェクトの成果

- ・2002年12月にプロジェクト開始。プロジェクトの署名式典にはモンゴル政府、日本大使館、UNDPの代表が出席
- ・予算配分や予算編成過程に焦点を当てた、ジェンダー及びマクロ経済に関する主要関係者のニーズアセスメントの実施

現行の活動

- ・援助機関からの資金、雇用、社会的支援が男性、女性それぞれにどのような影響を及ぼすかについての調査と分析
- ・政府及びCSO職員に対する国家・地方レベルでのジェンダーに配慮した予算編成の訓練
- ・ウェブサイトや出版物を通じた調査結果の普及
- ・最終会議の開催準備

広報活動

- ・モンゴル・テレビによるプロジェクト開始式典の報道
- ・メッセンジャー（英語）、デイリー・ニュース（モンゴル語）、モンゴル女性（モンゴル女性連盟の月刊誌）等、モンゴルの新聞や出版物
- ・UNDPモンゴル・ニュース、「ジェンダーに配慮した予算立案支援」、2002年12月12日

⑦ネパール

「災害マネージメントプログラム」

第1段階：\$410,001

第2段階：\$200,000

プロジェクトの成果

- ・地元民の参加と自主性を促すための自治地域団体（SGCs）をすべてのプロジェクト実施地域に設立

SGCs 職員の男女の割合は1:1

- ・4日間の災害管理訓練プログラムにおけるSGCsによる災害緩和活動の確認及び地元の知識と現地調達可能な資源を用いた災害緩和技術の適用
- ・プロジェクト実施地域間のSGCs職員による相互訪問。職員は災害管理に関する地域の取り組みを視察
- ・災害予測図作成とリスク・アセスメントの完了
- ・1994年から1999年までの5年間に起こった災害の地理的分布図の作成
- ・政府職員のための国・地域レベルでの災害管理訓練ワークショップ
- ・副首相、内務相、国家計画委員会副委員長、ドナー国・機関代表が参加した高官レベルの会議

- ・コミュニティ主導の災害管理の事例を共有するためのワークショップの開催

現行の活動

- ・災害時における女性の脆弱性を分析するための方法論の開発
- ・水害が男女に与える異なる影響に関するデータの収集の収集と、地方の貧困分布図の作成
- ・調査と収集データによる男女の脆弱性の状況調査
- ・プロジェクトの結果を災害管理政策・計画に反映させるための啓発戦略の開発

⑧フィリピン

「中小企業育成を通じた女性のエンパワーメント」

\$319,580

プロジェクトの成果

- ・ジェンダーに配慮した起業のためのトレーニング・モジュール及びマニュアルの開発
- ・IT技術を利用した女性起業家と市場のマッチングの開始。ITを使った女性と市場のマッチング(e-MMW)に関するフォーラムを開催、女性起業家を含むNGOや政府関係者167人が参加。同フォーラムでは、女性起業家が事業をオンライン登録し、より大きな市場に参入する支援をおこなう2つのウェブサイトを紹介
- ・グローバルゼーションによる競争の激化に対応するため、洗練されたパッケージやラベルをデザインするための講習会を開催。また、パッケージングの技術専門家によるコンサルティングサービスの提供

現行の活動

- ・職業技術教育及びスキル開発局(TESDA)女性センターのキャパシティ・ビルディング
- ・既存の中小企業経営者支援サービスの向上を計り、女性経営者にとって良い環境を整えるための政策提言
- ・4つのモデル地域で試験的に行っている支援サービスのとりまとめと評価
- ・女性起業家パートナー(WEP)による女性経営者への支援・融資の拡大(WEPは女性起業家の組織)

広報活動

- ・アニニガル、ピコル・トリビュン、カマリーン・シュール・ブレティン、ダエット・ニュースなどの地元紙
- ・地元のラジオ局

⑨ベトナム

「地方女性のための起業家育成開発プログラム」

\$380,000

プロジェクトの成果

- ・ダナン女性連合のキャパシティ強化を通じた、ベトナム中部における食品加工分野での女性起業家育成
- ・ベトナム中部3県における訓練施設の設立。施設では経営及びマーケティング技術、食品加工技術に関するトレーナー(訓練者)の育成を実施
- ・事業を改善し、市場・情報・技術・融資へのアクセス確保等の問題に共同で取り組むための、起業家の自助グループの創設

現行の活動

- ・技術・マーケティング・融資に関する訓練モジュールの作成

広報活動

- ・ベトナム・エコノミック・タイムズ、2003年4月
- ・UNDPベトナム・ニュース、2003年3月
- ・UNDPプレス・リリース、2001年10月

4. ヨーロッパ及びCIS諸国

①ベラルーシ

「女性の公的役割拡大支援」

\$320,000

プロジェクトの成果

- ・欧州人文大学における女性のリーダーシップに関する修士課程の設立。同プログラムでは女性が指導的地位につ

く訓練を実施

- ・地方選挙において女性候補者を支援するためのワークショップの開催
- ・立法府・行政府代表によるスウェーデン訪問調査
- ・ジェンダー平等化のための国家行動計画の実施状況、意思決定及び労働法・家族法制定への女性の参加の度合等に関する調査。調査結果は2002年12月23日にベラルーシ国会に提出された
- ・ジャーナリストのためのジェンダー・マニュアルの出版。マニュアルは女性のリーダーシップに焦点を当て、ベラルーシのメディアに見られるジェンダーのステレオタイプを分析
- ・ポスター、テレビ広告、国営・地方テレビ局のビデオプログラム、地方紙の論説やインタビュー記事を通じた、

女性のリーダーシップに関する意識向上キャンペーンの実施。本キャンペーンはロシアで開催された第7回国際低

予算宣伝祭の出版及びビデオ部門で1位獲得

現行の活動

- ・政治、経済、公務への女性の参加に関する優れた記事への授賞
- ・指導的地位にある女性に関するテレビのシリーズ番組の制作・放送

②カザフスタン

「女性のためのマイクロクレジット拡大支援」

\$300,000

プロジェクトの成果

- ・プロジェクト・スタッフによる無担保集団融資運営の成功
- ・無担保集団融資マイクロクレジット計画の査定及びマイクロクレジット機関に関する政策の立案

- ・地方の個人借り手に対する新型融資の開発

現行の活動

- ・認可を受けて独立した地元マイクロクレジット機関の設立。
- ・セミパラチンスク市以外の貧しい地域へのマイクロファイナンス活動の拡大
- ・新型融資の開発と実施

広報活動

- ・地元テレビ局及び国際テレビ局：STRチャンネル「アイマック」プログラム、2003年5月；KTK共和国チャンネル、2002年12月；カバール共和国チャンネル、2002年11月；MIRインターナショナル、2002年5月；STRによるプロジェクト・マネジャーのインタビュー、2002年4月
- ・ラジオ：カザフ・ラジオ＝サイ（正確な発音不明）、2003年5月
- ・出版物：地元紙ナシェ・デロ（正確な発音不明）、2003年7月；持続可能な開発ブレティン、2003年3－4月号
- ・インターネット：UNDPブレティン、2002年9月；UNDPカザフスタン・ウェブサイト：

www.undp.kz/projects

③リトアニア

「女性のエンパワーメントとICT」

\$272,930

プロジェクトの成果

- ・2002年10月にプロジェクト開始
- ・地域支援センターとして機能する5つの女性NGOの選定、ワークステーション等のロジスティックス支援
- ・マイクロソフト社とのパートナーシップ確立。（ソフトウェアの寄贈）

現行の活動

- ・女性のためのICT訓練：5つの参加NGOを対象としたトレーナー（訓練者）のための訓練セッションの第1弾。

- ・情報の共有とネットワークづくりのための女性用ポータルサイトの開発。ポータルサイトは、参加NGOのプロファイル、教材、女性NGOのデータベースやイベント案内等、幅広い情報を提供。
- ・ICT訓練の促進と雇用創出のためのリトアニア職業安定所とのパートナーシップ構築

広報活動

- ・UNDPニュースフロント、2002年10月
- ・UNDPリトアニア事務所ウェブサイト：www.undp.lt/en/

④ルーマニア

「地方女性の経済力向上」

\$250,000

プロジェクトの成果

- ・パン製造及び食品包装をおこなう2つの自立した試験的实施ユニット（PDU）の設立
- ・女性の経済的エンパワメントのための制度的枠組のモデル開発を目指す世銀プロジェクト等、他の小規模経済活動プログラムとのパートナーシップ
- ・2002年9月12日に駐ルーマニア日本大使及びUNDP常駐代表が「地方女性の地位」を出版。この出版物は地方女性の社会経済的地位を分析し、地方女性を開発プロセスに参加させるための具体的提案を紹介
- ・国際労働機関（ILO）主導の合同ワークショップ、「ジェンダー、貧困、雇用」や、国際農業開発基金（IFAD）

主催のセミナー、「農業者の自助組織」等のワークショップや会議で模範的事例として挙げられる

現行の活動

- ・2003年6月に2つのPDUを追加で設立、運営

広報活動

- ・全国紙による「地方女性の地位」出版の報道、UNDP常駐代表のテレビ・インタビュー
- ・キャピタル紙が新PDUによる地方女性の経済的エンパワメントに関する2つの特集記事を掲載
- ・UNDPルーマニア事務所ウェブサイト：www.undp.ro/poverty/

⑤タジキスタン

「農村部におけるマイクロクレジット支援」

\$200,000

プロジェクトの成果

- ・NGO、ジェンダー・アンド・ディベロプメント（GAD）によるマイクロクレジット計画の適用範囲の拡大。
- ・シャリナウ・プロジェクトのスタッフ及び借り手に対するマイクロクレジット業務訓練セミナーの開催
- ・コファーニホン、シャリナウ、トルサンザデ地方の借り手に対するマイクロクレジット制度と小規模事業に関する訓練
- ・タジキスタンに設立予定のマイクロファイナンス機関（MFI）に適用される法律について助言するため、GADがNGO連合に参加。新法に関するGADの助言は、政府・中央銀行・アジア開発銀行（ADB）が共同で設立した作業部会に提出
- ・新法下でのマイクロクレジット計画に関する十分な知識を得るためのGAD職員の訓練強化

現行の活動

- ・GADのマイクロクレジット業務運営地域における借り手のための定期的訓練
- ・職員訓練：GADプロジェクト・コーディネーターには中小企業支援についての訓練、パートナーNGOのプロジェクト・コーディネーターにはMFI管理についての訓練を実施
- ・各地域における融資業務の監視
- ・MFI管理に関する優れた慣行の学習

- ・地方の金融規制枠組にジェンダーの視点を取り入れるために、GADがADB作業部会会議にNGO代表として定期的に参加
- ・タジキスタンにおけるMFIの設立に関する手続きや規定について財務・法務両省と協議

広報活動

- ・雑誌：サボ、2002年12月
- ・UNDPタジキスタン事務所ウェブサイト：www.undp.tj/programmes/gender.html
- ・スウェーデン国際開発協力庁（SIDA）や中央アジアへのフィンランド移動大使等の出資者によるコファニーホン
- ・のマイクロクレジット・センター訪問

5. ラテン・アメリカとカリブ諸国

①エクアドル

「女性のリーダーシップと市民権」

\$313,760

プロジェクトの成果

- ・2002年7月にプロジェクト完了
- ・選挙候補者の35パーセントを女性にすることを規定した「割当法」の実施を各政党に促すための効果的な啓発活動
- ・2002年の国政選挙前に女性の政治参加に関する基本調査を実施、その結果を幅広く普及。選挙結果は複雑で、すべての政党が割当法を実施したわけではなかったが、全体的に女性の政治参加は拡大。国会では女性議員の割合が18パーセントから23パーセントに、地方自治体レベルでは28パーセントから30パーセントに、市町村レベルでは25パーセントから26パーセントに増加。郡レベルでの結果はマイナスで、選挙前、エクアドルには2人の女性郡議員がいたが、現在は皆無。女性当選者の多くが女性運動に参加していたことは心強い
- ・ジェンダー政策、地域開発、国の法制度及び制度改革に関する一連のワークショップの開催。ワークショップには潜在的な女性指導者、草の根組織、原住民団体が参加
- ・ジェンダー主流化に関する職員訓練の実施を通して、8つの地方自治体でジェンダーに配慮した政策やメカニズムを促進。地方自治体に対し、暴力や保健など、具体的なジェンダー問題に関する職員訓練の実施を奨励
- ・地方自治体レベルで政策対話に積極的に参加できるよう、啓発能力を向上させるための女性と青少年組織ネットワークを設立
- ・男女の若い指導者を支援するための行動計画の開発

広報活動

- ・ニュース・ブレティン、「エン・アルタ・ヴォズ」
- ・冊子：「女性の経済的・社会的権利」、「ビジョンと使命」、「女性の労働権」、「女性の政治的権利：割当法の分析」
- ・本：「スザナ・ゴンザレスの22日間」。議会議長を務めた女性の激動の日々を綴る

②グアテマラ

「女子教育支援プログラム」

\$310,000

プロジェクトの成果

- ・教育省、女性国家事務局、女性ネットワーク、CARE、JICA等、政府機関と非政府組織の協議を通して2003-2007年度の女子教育のための国家計画を策定。戦略は、女子の就学率、ジェンダーに配慮したカリキュラムの開発、教師の訓練、ジェンダーに関する意識向上活動、女子教育に関するプロジェクト・プログラムの調整の5分野を強調
- ・国家計画の実施開始と作業計画の開発

- ・女子教育に関するナショナルセミナーの開催。セミナーでは7県で試験的に実施された革新的な教育モデルや方法論に関する事例を発表。優良事例に基づいた教育ハンドブックの作成
- ・教育省職員に対するジェンダー研修
- ・ジェンダーの視点を取り入れた新しい国家初等教育カリキュラムの策定

現行の活動

- ・全国の学校の年間計画・教育プログラムへの国家計画の導入支援
- ・教育ハンドブックを使用した教師や学校管理者の研修
- ・ジェンダーに配慮した教育方法論の開発・試験的適用のための7つの試験的イニシアティブの評価

- ・「女子教育に関するナショナル・セミナー」の開催
- ・教育省内に最近設置された女子協議会へのサポート
- ・UNDP・教育省・JICA間の調整会議の定期的開催

広報活動

- ・2002年11月、「女性に対する暴力撤廃の国際デー」を祝うためのラジオ・フォーラム
- ・地元のラジオ・テレビ局による「2003-2007年度女子教育のための戦略計画」の開始に関する報道

- ・女子教育に関するウェブサイト：

www.mineduc.gob.gt/proyectos/prognina/Ingles/EducNinaIng1.htm

- ・女子教育に関する季刊誌、「アデルテ・ニーナ」
- ・2000年に作成されたビデオクリップ、「グアテマラの女子教育」

③ジャマイカ

「女性と小規模事業開発」

\$100,000

プロジェクトの成果

- ・定期的なワークショップの開催を通じた女性に対する小規模事業開発訓練
- ・各地で開催されたワークショップを再現するための、使いやすいマニュアルの開発
- ・ワークショップに参加した女性起業家がネットワークを維持し、ビジネス関連の情報や経験を共有するためのニュースレターの発行
- ・地元女性団体とのパートナーシップ
- ・女性起業家のニーズに応えるサービスを提供する小規模事業融資機関同士の連携

現行の活動

- ・プロジェクト完了
- ・プロジェクトの調査結果の出版
- ・訓練マニュアルの電子バージョンの作成

④ウルグアイ

「農村女性の経済的・社会的統合の促進」

\$398,425

プロジェクトの成果

- ・手工芸品や食品を生産する地方女性に対する、ICTの利用等、効率的な生産及び情報管理に関する訓練の実施
- ・包装デザイン（ロゴやラベル）、マーケティング、広報活動による製品の品質改善
- ・全国的な見本市への参加による、地方女性の製品の認知度の向上と市場参入の促進
- ・市場委員会での意思決定への参加拡大

現行の活動

- ・訓練活動の継続
- ・プロジェクトのウェブサイトの開発
- ・プロジェクトのビデオと冊子の作成

⑤グローバル「

人間の安全保障とジェンダーに関するアフリカ・アジア議員フォーラム」

\$397,100

プロジェクトの成果

・2002年3月、第1回フォーラムをモロッコのマラケシュで開催。アフリカ・アジア24カ国の議員が参加、紛争その他の脅威に直面する中、ジェンダー平等化をいかに促進するかについて討議。女子差別撤廃条約（CEDAW）の実施やフォローアップ活動に関する具体的な提言を含むコミュニケを採択

・2002年12月、第2回フォーラムをタイのバンコクで開催。20カ国の議員が参加、人間の安全保障及びジェンダーに関する立法機関の役割について討議。参加者は、ミレニアム開発目標（MDGs）の達成手段として、ジェンダー平等を支援する国家予算の編成を支持。また議員間のネットワークを構築し、議員のジェンダー問題に関する専門性を強化することに合意

現行の活動

・第1回、第2回フォーラムの最終報告書の普及

・2003年9月開催予定の第3回アフリカ開発会議（TICAD III）への実質的貢献

広報活動

・UNDPニュースフロント：モロッコ・フォーラム、2002年4月；タイ・フォーラム、2003年1月

出典：「UNDP・WID 基金 2002 年次報告書」（UNDP）より作成